

1. はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの尊い人命や貴重な財産を奪っていきました。心から哀悼の念を捧げるとともに、地震・津波・放射線漏れ・風評被害という4重苦の中で、多くの方々が献身的な努力をしていらっしゃることに、心から敬意を表します。また、最大限、この教訓を生かさなければと思っているところです。

今回の震災で、特に、自立して動ける保健師の重要性が、改めて示されたと思います。

平成21年7月の「保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部改正」により、保健師および助産師の修業年限が1年以上に延長され、指定規則も28単位以上となりました。これは、平成23年度から施行されます。また、大学で、看護師教育だけを行う道も開かれました。

東京大学でも、平成23年度入学生からは、学士課程では看護師教育だけを行うこととなりました。今後、保健師と助産師の教育を修士課程で行えるように、最大限の努力をしていきます。

平成18年4月から開設した東京大学大学院医学系研究科修士課程保健師コースは、1期生から4期生まで9名が修士課程を修了し、自治体や企業に保健師として就職していきました。平成22年度は5期生2名が実習に取り組みました。5年間の実習を通じた成果について執筆し、より広く世に問えるようにしていきたいと考えています。それが、地域看護学の構築にも貢献するでしょう。

また、当教室で取り組んできた24時間訪問看護・介護に関する研究は、平成20年度からは、滋賀県に加えて、福岡県の県庁や保健所と協働して行っています。9ヶ所の保健所での取り組みが実を結びつつあることを喜ばしく思い、関係者のご努力に敬意を表します。また、今年も引き続き発展させていきたいと考えています。

当教室は、平成22年に発足19年目を迎えました。この春、2名が博士号を取得し、更に2名が審査の途上にあります。平成4年の教室発足以来、博士号取得者は、合計23名になりました。修士号取得者は、52名です。ここに纏めました平成22年度の活動報告をご高覧いただき、ご助言、ご指導を賜れば幸いです。

教室員一同、研究と教育に更に努力を続けたいと存じます。
今後ともご指導ご鞭撻の程、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

平成23年4月

東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻地域看護学分野

教授 村嶋幸代

2. 研究業績

(1) 原著・報告

Hikari Tomura, Noriko Yamamoto-Mitani, Satoko Nagata, Sachiyo Murashima, Shigemi Suzuki
Creating an Agreed Discharge: Discharge Planning for Clients with High Care Needs.
Journal of Clinical Nursing, 20(3), 444-453, 2011

Takashi Naruse, Satoko Nagata, Atsuko Taguchi, Sachiyo Murashima
Classification tree model identifies home-based service needs of Japanese long-term care insurance consumers.
Public Health Nursing (inpress)

Hiroshi Murayama, Atsuko Taguchi, Sachiyo Murashima
The Relationships Between Feelings of Satisfaction and Burden With Respect to Activity and Social Support Among Health Promotion Volunteers in Japan.
Health Education & Behavior, 37, 275-287, 2010

Hiroshi Murayama, Atsuko Taguchi, Sachiyo Murashima
Exploring Strategies to Encourage Community Health Outreach by Health Promotion Volunteers in Japan
Journal of Ambulatory Care Management (in press)

Hiroshi Murayama, Atsuko Taguchi, Shuhei Ryu, Satoko Nagata, Sachiyo Murashima
Is Sekentei Associated with the Attitude toward Care? Multilevel Analysis in Japan.
Geriatrics & Gerontology International 2010 (in press)

Kae Nakayama, Megumi Haruna, Masayo Matsuzaki, Kyouichi Sekine, Sachiyo Murashima
Changes in 13, 14-dihydro-15-keto-prostaglandin F2 α (PGFM) levels in saliva_during pregnancy, labor and the postpartum period.
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, 36(1), 27-33, 2010

Masayo Matsuzaki, Megumi Haruna, Erika Ota, SeonAe Yeo, Ryoko Murayama, Sachiyo Murashima
Translation and cross-cultural adaptation of the Pregnancy Physical Activity Questionnaire (PPAQ) to Japanese.
BioScience Trends (Accepted)

Megumi Haruna, SeonAe Yeo, Etsuko Watanabe, Masayo Matsuzaki, Erika Ota, Kae Nakayama, Sachiyo Murashima
Perceptions of women and health-care providers in Tokyo of appropriate weight gain during pregnancy.
Nursing and Health Sciences, 12(1), 21-26, 2010

Masayo Matsuzaki, Megumi Haruna, Yoko Hasumi, Kyouichi Sekine, Takashi Tanizaki, Etsuko Watanabe, Sachiyo Murashima

Ubiquinol-10 and ubiquinone-10 levels in umbilical cord blood of healthy fetuses and the venous blood of their mothers.
Free Radical Research (Accepted)

Mikako Okamoto, Ryoko Murayama, Megumi Haruna, Masayo Matsuzaki, Shiro Kozuma, Maki Nakata, Sachiyo Murashima.

Evaluation of pelvic floor function by transabdominal ultrasound in postpartum.
Journal of Medical Ultrasonics (in press)

Megumi Haruna, Masayo Matsuzaki, Erika Ota, Yuka Honda, Takashi Tanizaki, Kyoichi Sekine, Nobuyuki Tabata, SeonAe Yeo, Sachiyo Murashima

Positive correlation between maternal serum coenzyme Q10 levels and infant birth weight.
BioFactors (in press)

永田智子, 田口敦子, 成瀬昂, 桑原雄樹, 村嶋幸代

介護保険専門員の判断に基づく訪問看護の必要者の特徴および必要者における訪問看護利用の実態と利用者・非利用者の比較

日本公衆衛生雑誌, 57(12), 1084-1093, 2010

島村珠枝, 田口敦子, 小林小百合, 永田智子, 榎原良枝, 永田容子, 小林典子, 村嶋幸代

多剤耐性結核入院患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること

日本看護科学会誌, 30(2), 3-10, 2010

桑原雄樹, 永田智子, 田口敦子, 村嶋幸代

訪問看護ステーションが利用者の退院前に行う業務の実態

日本医療・病院管理学会誌, 47(2), 93-101, 2010

嶋津多恵子, 蔭山正子, 星田ゆかり, 田口敦子, 麻原きよみ

へき地における戦後から高度経済成長期までの保健師活動—土地の文化に対峙し住民の命と生活を守る—
日本地域看護学会誌, 12(2), 22-28, 2010

村山洋史, 戸丸明子, 奈良部晴美, 兒島智子, 村嶋幸代

地域包括支援センターにおけるインフォーマル組織とのネットワーク構築状況チェックリスト作成の試み
日本地域看護学会誌, 13(1), 91-99, 2010

村山洋史, 奈良部晴美, 兒島智子, 戸丸明子, 立花鈴子, 山口拓洋, 村嶋幸代

地域専門機関とインフォーマル組織とのネットワーク促進プログラムの開発
日本公衆衛生雑誌, 57(10), 900-908, 2010

村山洋史, 兒島智子, 戸丸明子, 奈良部晴美, 立花鈴子, 山口拓洋, 村嶋幸代
地域専門機関とインフォーマル組織とのネットワーク促進プログラムの評価—地域包括支援センターにおける試行—
日本公衆衛生雑誌, 57(10), 909-920, 2010

麻原きよみ, 大森純子, 小林真朝, 平野優子, 鈴木良美, 荒木田美香子, 大木幸子, 岡本玲子, 奥山則子, 海原逸子, 須藤裕子, 長江弘子, 宮崎美砂子, 村嶋幸代
保健師教育機関卒業時における技術項目と到達度
日本公衆衛生雑誌, 57(3), 184-194, 2010

(2) 解説

村嶋幸代
保健師教育の展望 日本公衆衛生学会“公衆衛生看護のあり方委員会”の提示したコアカリキュラムから
公衆衛生, 74(7), 552-560, 2010

村嶋幸代
保健師助産師看護師法の改正と保健師教育の展望(8)「保健師教育の評価」
日本公衆衛生雑誌, 57(9), 843-847, 2010

村嶋幸代, 瀬川恵子, 平野かよ子, 岸本ゆき江, 澁谷いづみ, 佐伯和子
公衆衛生看護のあり方に関する委員会報告 サテライトシンポジウム(5)「保健師は社会の新しい課題に立ち向かう」
日本公衆衛生雑誌, 57(10), 941-949, 2010

村嶋幸代
修士課程における保健師教育の必要性と実際
保健の科学, 52(4), 234-240, 2010

村嶋幸代
地域看護学の目指すものと日本地域看護学会の使命, 取り組むべき課題
保健の科学, 52(9), 598-602, 2010

永田智子
退院支援の発展—いつでもどこでも、安心してケアを受けられるために—
保健の科学, 52(5), 323-326, 2010

島村珠枝, 田口敦子, 村嶋幸代
結核研究奨励賞受賞報告 多剤耐性結核入院患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること
保健師・看護師の結核展望, 48(2), 41-48, 2010

成瀬昂, 田口敦子, 桑原雄樹, 永田智子, 村嶋幸代

行政による訪問看護ステーションの整備・拡充の取り組みー継続して展開している福岡県のモデル事業についてー

訪問看護と介護, 15(9), 702-707, 2010

川本晃子, 河村眞紀代, 野口久美子, 有本梓, 田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代

私の行なった修士課程での保健師実習(1)

M町における地域診断・活動展開実習を通じて学んだことーM町で保健師が住民と育てた介護予防教室を通して地域特性に合わせた支援を考えるー

保健の科学, 52(4), 241-245, 2010

山名由希子, 石川志麻, 有本梓, 田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代

私の行なった修士課程での保健師実習(2)

ーO市における地域診断・活動展開実習 保健師の高齢者筋トレグループ活動に対する自主化および継続支援

保健の科学, 52(4), 246-250, 2010

山田千佳, 野田美恵, 有本梓, 田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代

私の行なった修士課程での保健師実習(3)

潜在的な健康問題の実態をとらえ、地区特性に応じた対策を考える

保健の科学, 52(4), 251-256, 2010

高井和子, 千代妙子, 山本真理子, 南千佳子, 石原仁, 九里美和子, 田口敦子, 成瀬昂, 桑原雄樹, 村嶋幸代

24時間365日の安心を提供するー夜間・早朝訪問看護の充実に向けてー

訪問看護と介護, 16(3), 225-229, 2011

(3) 著書

有本梓 (分担執筆)

第3章 CBPRのパートナーシップ TOPICS 日本のパートナーシップの特徴 (pp. 58-59)

地域保健に活かすCBPR: コミュニティ参加型の活動・実践・パートナーシップ (CBPR研究会著).

東京 医歯薬出版, 2010

(4) 報告書

村嶋幸代, 山田雅子, 田上豊, 福田敬, 竹内美和枝, 永田智子, 田口敦子, 有本梓

平成22年度厚生労働省労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業

「地域特性に応じた効果的・効率的な24時間訪問看護介護体制の継続的实施および構築方法に関する研究」

平成22年度総括研究報告書, 2010

村嶋幸代, 秋山弘子, 大内尉義, 辻哲夫, 三上裕司, 森田朗, 山田雅子, 福田敬, 永田智子, 田口敦子, 成瀬昂, 桑原雄樹

平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分)

「訪問看護の需給推定に関する研究事業」 報告書

国立大学法人 東京大学, 2010

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 桑原雄樹, 川本晃子, 橋本瑞希, 堀越直子

平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分)

「介護予防事業の推進に関する調査研究事業」

国立大学法人 東京大学, 2010

(5) シンポジウム・セミナー等

村嶋幸代(座長)

第 52 回日本老年医学会学術集会

一般演題「介護・看護 I」

兵庫県 神戸商工会議所 3 階神商ホール B, 2010 年 6 月 25 日

村嶋幸代(座長)

第 58 回日本心臓病学会学術集会

コメディカルセッション 「コメディカルの診療参加—現状と将来—」

東京都 東京国際フォーラム, 2010 年 9 月 19 日

村嶋幸代 (授業・講師)

在宅分野における研究とサービスの質の評価・改善 ①.24 時間ケアの実践

東京都 聖路加看護大学, 2010 年 9 月 29 日

村嶋幸代 (シンポジスト)

日本学校保健学会

シンポジウム「変革の時代における養護教諭の養成のこれからを問う」

埼玉県 女子栄養大学坂戸キャンパス, 2010 年 11 月 27 日

永田智子 (授業・講師)

自治医科大学大学院看護学研究科 地域看護管理方法 I

「退院支援と医療機関における地域連携体制の構築の実際」

東京 東京大学, 2010 年 5 月 28 日

Azusa Arimoto, Sachiyo Murashima (Presenter)

Community/Public Health Nursing Conference

“Public Health Nursing in Japan”

Health Sciences Library, Denver, University of Colorado College of Nursing Auschutz Medical Campus, Nov.5 2010

有本梓 (授業・講師)

講義 社会保障法各論

「母子保健の法律・制度：地域看護の視点から」

東京都 上智大学3号館, 2010年11月29日

Izumi Watai (Panelist)

Symposium "New development of occupational mental health: For engaged workers and healthy workplaces"

Work-Life Balance and Mental health

The 3rd ICOH & the 2nd ACHON Joint Conference 2010, Yokohama, Workpia Yokohama, Aug.6-9 2010

渡井いずみ (パネリスト)

第17回日本行動医学会学術総会

シンポジウム「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に行動医学は貢献できるか」

労働者の生活習慣 ～ワーク・ライフ・バランスとの関係～

東京都 東京大学鉄門記念講堂, 2011年3月11日-12日

山田千佳 (パネリスト)

第25回全国保健師教育機関協議会教員研修会パネルディスカッション

I町における地域診断・活動展開実習 ―慢性腎臓病予防に焦点を当てて―

修士課程における保健師実習の実際 東京大学におけるトライアル

東京都 東京大学鉄門記念講堂, 2010年7月31日

下内昭 (座長)

御手洗聡, 切替照雄, 吉山崇, 白石裕治, 島村珠枝 (シンポジスト)

平成22年度全国結核対策推進会議

シンポジウム「今日の多剤耐性結核(MDR)最新情報」

東京都 ヤクルトホール, 2011年3月4日

(6) 学会発表

成瀬昂, 永田智子, 田口敦子, 桑原雄樹, 村嶋幸代

樹形モデルを用いた睡眠満足度による在宅家族介護者の分類と、夜間介護との関連

第23回老年泌尿器科学会, 東京都 東京ステーションコンファレンス, 2010年5月14日-15日

村山亜矢子, 有本梓, 成瀬昂, 渡井いずみ, 村嶋幸代

職場の仕事と育児の両立支援環境が就労者の抑うつに及ぼす影響

第83回日本産業衛生学会, 福井県 福井県国際交流会館フェニックス・プラザ, 2010年5月26日-28日

山居優子, 草刈由美子, 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代

看看連携を円滑に行うための病院のシステム構築に必要な要素の検討

第13回日本地域看護学会学術集会, 北海道 北海道立道民活動センターかでの2.7, 2010年7月10日-11日

廣田真由美, 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代

重症児とその家族が退院に向けて受けた支援と退院後の問題

第13回日本地域看護学会学術集会, 北海道 北海道立道民活動センターかでの2.7, 2010年7月10日-11日

永田智子, 田口敦子, 成瀬昂, 桑原雄樹, 中尾杏子, 八巻心太郎, 吉池由美子, 田上豊, 村嶋幸代

一般病棟から退院した高齢患者における訪問看護の利用状況と必要性

第48回日本医療・病院管理学会学術総会, 広島県 広島国際会議場, 2010年10月15日-16日

桑原雄樹, 永田智子, 田口敦子, 成瀬昂, 河口洋行, 村嶋幸代

DEA (Data Envelopment Analysis) を用いた訪問看護ステーションの効率性測定

第48回日本医療・病院管理学会学術総会, 広島県 広島国際会議場, 2010年10月15日-16日

石塚裕美子, 永田智子, 戸村ひかり, 村嶋幸代

内科病棟における高齢患者の計画外再入院に至る経過の分類

第48回日本医療・病院管理学会学術集会, 広島県 広島国際会議場, 2010年10月15日-16日

田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代

全国の訪問看護ステーションの現状 (第1報) —サービス提供体制の推移—

第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

永田智子, 田口敦子, 村嶋幸代

全国の訪問看護ステーションの現状 (第2報) —病院及びステーション間の連携—

第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

渡井いずみ, 錦戸典子, 村嶋幸代

働く母親の生活習慣と子どもの生活への影響 —シングルマザーと共働きの母親との比較—

第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

武内奈緒子, 成瀬昂, 小林小百合, 村嶋幸代

介護療養型医療施設入所者の在宅復帰の可能性と高齢者施設の在り方

第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

島村珠枝, 田口敦子, 村嶋幸代

結核患者支援における保健師の支援内容の明確化—服薬継続に焦点を当てて—

第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

山名由希子, 有本梓, 田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代

Y市A区における結核の現状と対策—結核患者の就業状況と早期発見に焦点をあてて
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

尾形玲美, 有本梓, 村嶋幸代

児童虐待予防を目的に保育所と連携して行った行政保健師の支援内容
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

大橋由基, 尾形玲美, 有本梓, 田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代

東京大学大学院修士課程「保健師コース」での地域診断・活動展開実習
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

坂田祥, 成瀬昂, 田口敦子, 村嶋幸代

幼児をもつ母親の育児困難感と子どもの行動特性
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

虎谷彰子, 河島貴子, 可野倫子, 澁田景子, 立花鈴子, 渋井優, 村山洋史, 村嶋幸代

世田谷区全高齢者実態把握調査報告(第1報): 調査の概要と主な調査結果について
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

可野倫子, 河島貴子, 虎谷彰子, 澁田景子, 立花鈴子, 渋井優, 村山洋史, 村嶋幸代

世田谷区全高齢者実態把握調査報告(第2報): 高齢者の状況とすこやか分類
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

河島貴子, 虎谷彰子, 可野倫子, 澁田景子, 立花鈴子, 渋井優, 村山洋史, 村嶋幸代

世田谷区全高齢者実態把握調査報告(第3報): 老老介護及び社会的孤立の状況について
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

渋井優, 村山洋史, 福田吉治, 立花鈴子, 河島貴子, 虎谷彰子, 可野倫子, 澁田景子, 村嶋幸代

世田谷区在住高齢者における閉じこもり予備群の類型化
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

村山洋史, 渋井優, 福田吉治, 立花鈴子, 河島貴子, 虎谷彰子, 可野倫子, 澁田景子, 村嶋幸代

高齢者の生活空間要因は閉じこもりと関連するか?: 都市部での検討
第69回日本公衆衛生学会総会, 東京都 東京国際フォーラム, 2010年10月27日-29日

Azusa Arimoto, Reimi Ogata, Sachiyo Murashima

Case management by public health nurses in an effort to prevent child abuse and neglect in Japan: Providing support to mothers and children

138th American Public Health Association Annual Meeting, Denver, Colorado Convention Center. November 6-10, 2010

Tamae Shimamura, Atsuko Taguchi, Sachiyo Murashima

Medication adherence and public health nurses' support for patients with tuberculosis in Japan: In-depth interview
138th American Public Health Association Annual Meeting, Denver, Colorado Convention Center. November 6-10, 2010

Akiko Kawamoto, Azusa Arimoto, Atsuko Taguchi, Satoko Nagata, Sachiyo Murashima

Master course practice on 'community health nursing diagnoses and developing activity' 1: The meanings of the community-based care prevention exercise activity for the elderly and the suggestion for PHNs' strategies based on characteristics of each community

138th American Public Health Association Annual Meeting, Denver, Colorado Convention Center. November 6-10, 2010

Reimi Ogata, Azusa Arimoto, Sachiyo Murashima

Case management by public health nurses in an effort to prevent child abuse and neglect: Collaboration with nursery school staff

138th American Public Health Association Annual Meeting, Denver, Colorado Convention Center. November 6-10, 2010

(7) 講演等

村嶋幸代(講師)

訪問看護ステーション管理者研修

訪問看護ステーションの現状と課題

東京都 社会福祉法人恩賜財団済生会 大会議室, 2010年5月14日

村嶋幸代(講師)

第36回神経研夏のセミナー

地域看護活動 方法、成果と展望

東京都 東京都神経科学総合研究所 1階会議室, 2010年6月24日

村嶋幸代(講師)

全国保健師長会近畿ブロック研修会

保健師教育を取り巻く現状と課題～看護系大学における保健師教育のあり方～

大阪府 大阪市立大学医学情報センター(あべのメディックス)6階ホール, 2010年6月26日

村嶋幸代(講師)

平成22年度神奈川県看護協会保健師職能集会・研修会

「地域づくり・ネットワークづくり」のプロになろう!

神奈川県 社団法人神奈川県看護協会 第一研修室, 2010年7月16日

村嶋幸代(講師)

滋賀県市町保健師協議会草津支部研修会

「保健師教育のあり方を考える」保健師の仕事に自信と誇りを取り戻すために

滋賀県 滋賀県草津保健所 3階会議室, 2010年7月23日

村嶋幸代(講師)

全国保健師長会九州ブロック研修会

保健師教育を取り巻く現状と課題～看護系大学における保健師教育のあり方～

福岡県 北九州市総合保健福祉センター アシスト21講堂, 2010年8月21日

村嶋幸代(講師)

全国保健師教育機関協議会九州ブロック講演会

保健師教育の今後のあり方について

福岡県 九州看護福祉大学2階, 2010年8月27日

村嶋幸代(講師)

保健師教育研修会

保健師を取り巻く今日的課題と展望・保健師基礎教育における実習のあり方と指導者の役割

島根県 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス, 2010年9月2日

村嶋幸代(講師)

全国保健師長会東海北陸ブロック研修会

保健師教育の現状と課題～基礎教育から現任教育を通して～

三重県 三重北勢地域地場産業振興センター(じばさん三重), 2010年9月18日

村嶋幸代(講師)

全国保健師長会東京特別区支部学習会

保健師教育のあり方を臨地実習も含めて考える～担当して楽しい保健師実習になるための方略～

東京都 台東区役所, 2010年11月1日

村嶋幸代(講師)

熊本県看護協会保健師職能研修会

保助看法改正～看護教育・保健師教育の変化と、今取り組むべきこと～

熊本県 熊本県看護研修センター, 2011年1月22日

村嶋幸代(講演・講師)

福岡県地域看護学実習受け入れ担当者会議

保健師教育における指定規則改正の背景と今後の公衆衛生看護実習のあり方

福岡県 ナースプラザ福岡, 2011年2月1日

村嶋幸代(講師)

平成 22 年度岐阜県本巣市における東京大学大学院医学系研究科修士課程保健師コース地域診断・活動展開
実習 実習報告会(本巣市健康福祉部健康増進課)

これからの保健活動で必要な専門性ー少子高齢社会に必要な保健戦略ー

岐阜県 岐阜県本巣市本巣保健センター, 2011 年 2 月 5 日

村嶋幸代(講師)

福島地域保健研究会

今求められる保健師像と必要な基礎・現任教育

福島県 郡山市市民交流プラザ, 2011 年 2 月 26 日

村嶋幸代(講師)

平成 22 年度第 2 回「今後の地域看護学実習あり方研修会」

保健所・市町村における実習調整と体制整備～公衆衛生看護学実習における県及び市町村保健師の役割に
ついて～

福岡県 ナースプラザ福岡, 2011 年 3 月 2 日

村嶋幸代(講師)

平成 22 年度 特別区保健師業務連絡会

指定規則改正に伴う臨地実習を中心とした保健師教育のあり方

東京都 東京区政会館 19-1 会議室, 2011 年 3 月 11 日

村嶋幸代(講師)

全国保健師長会岐阜県支部

保健師教育の危機と打開点:保健師が専門職として生き残るためにすべきこと、東京大学大学院修士課程保健
師コースのめざすところ

岐阜県 岐阜保健所, 2011 年 3 月 14 日

村嶋幸代(講師)

在宅医療推進事業研修会(第 5 回)

在宅医療ネットワーク構築を目指す取組み～行政からのアプローチとその効果～

福岡県 福岡県吉塚合同庁舎 803 会議室, 2011 年 3 月 25 日

永田智子 (教育講演)

第 13 回日本地域看護学会学術集会

療養場所の円滑な移行に向けた支援 一切れ目のないケア提供に向けてー

北海道 北海道立道民活動センターかでの 2.7, 2010 年 7 月 11 日

永田智子（講師）

退院調整看護師養成研修会

退院支援概論

長野県 看護総合センターながの, 2010年7月14日

永田智子（座長）

第12回訪問看護セミナー

研修・事例を通じて『新卒訪問看護師の学び』

東京都 秋葉原センタープレイスビル, 2010年11月13日

島村珠枝（講師）

平成22年度結核研究所研修「保健師対策5日間コース」（第1回）

「多剤耐性結核患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること」

東京都 結核予防会結核研究所 4階講堂, 2010年6月9日

島村珠枝（講師）

平成22年度結核研究所保健看護学科研修「夏季集中コース」

「多剤耐性患者の心理的負担への介入 看護の立場から～入院中のMDR患者さんへのインタビューを通して～」

東京都 結核予防会結核研究所 4階講堂, 2010年7月29日

島村珠枝（講演・講師）

平成22年度結核研究所保健看護学科研修「保健師対策5日間コース」（第2回）

「結核の保健看護活動（Ⅱ）—多剤耐性結核患者への支援」

東京都 結核予防会結核研究所 4階講堂, 2010年9月15日

島村珠枝（講演・講師）

平成22年度結核研究所保健看護学科研修「保健師・看護師等基礎・実践コース」（第1回）

「結核の保健看護活動（Ⅲ）—多剤耐性結核の支援」

東京都 結核予防会結核研究所 4階講堂, 2010年10月8日

島村珠枝（講演・講師）

平成22年度結核研究所研修「結核対策合同アドヴァンスコース」

「結核の保健看護活動③ —MDR結核（保健看護学科）」

東京都 結核予防会結核研究所 3階 第4講義室, 2011年1月31日

（8）その他

Azusa Arimoto

Report on APHA Annual Meeting 2010 & Conference at the University of Colorado

JACHN Newsletter No.10, Journal of Japan Academy of Community Health Nursing, 13(2), 151, 2011

3. 研究活動

(1) 抄読会 (毎週火曜日) 前期2010年4月13日~7月13日, 後期9月14日~2011年3月8日

- 4月13日 抄読会オリエンテーション・ウェルカムランチ
- 4月20日 岡本美香子(文献紹介): Boyles SH, Li H, Mori T, Osterweil P, Guise JM. Effect of mode of delivery on the incidence of urinary incontinence in primiparous women. *Obstet Gynecol*, 113(1), 134-41, 2009 (クリティーク 桑原)
堀田久美(文献紹介): Heymen S, Scarlett Y, Jones K, Ringel Y, Drossman D, Whitehead WE. Randomized controlled trial shows biofeedback to be superior to pelvic floor exercises for fecal incontinence. *Dis Colon Rectum*, 52(10), 1730-7, 2009 (クリティーク 成瀬)
- 4月27日 島村珠枝(文献紹介): Bao QS, Du YH, Lu CY. Treatment outcome of new pulmonary tuberculosis in Guangzhou, China 1993-2002: a register-based cohort study. *BMC Public Health*, 7,344, 2007 (クリティーク 白石)
村嶋幸代(地域トピック): 地域看護学教室の主な仕事、24時間ケア研究
- 5月11日 山畑みずき(文献紹介): Vogl SE, Worda C, Egarter C, Bieglmayer C, Szekeres T, Huber J, Husslein P. Mode of delivery is associated with maternal and fetal endocrine stress response. *BJOG*, 113(4),441-5, 2006 (クリティーク 永田)
川本晃子 : 修士論文経過報告
草刈由美子 : 修士論文経過報告
- 5月18日 齋藤あや(文献紹介): Roberts ME, Gerrard M, Reimer R, Gibbons FX. Mother-daughter communication and human papillomavirus vaccine uptake by college students. *Pediatrics*, 125(5),982-9, 2010 (クリティーク 有本)
山居優子 : 修士論文経過報告
山名由希子 : 修士論文経過報告
- 5月25日 尾形玲美(文献紹介): Izzo CV, Eckenrode JJ, Smith EG, Henderson CR, Cole R, Kitzman H, Olds DL. Reducing the impact of uncontrollable stressful life events through a program of nurse home visitation for new parents. *Prev Sci*, 6(4),269-74, 2005 (クリティーク 村山)
山田千佳 : 修士論文経過報告

- 6月1日 大橋由基 (文献紹介) : Wang J, Williams M, Rush E, Crook N, Forouhi NG, Simmons D. Mapping the availability and accessibility of healthy food in rural and urban New Zealand--Te Wai o Rona: Diabetes Prevention Strategy. *Public Health Nutr*, 13(7),1049-55, 2010 (クリティーク 田口)
春名めぐみ (母性トピック) : 母性看護学・助産学教室の主な仕事、研究プロジェクト : ①妊娠・出産を契機とする腹圧性尿失禁の効果的な予防プログラムの開発とその効果 ②医療現場での自動検査装置の信頼性・妥当性評価に関する研究 ③Body Reconstructionプログラム開発に関するTR実践とその評価 ④就労女性の妊娠・育児期の就労継続に必要な具体的支援内容の提案 ⑤妊娠中の栄養摂取量の自己申告値に与える影響要因に関する研究 ⑥妊娠中の葉酸・ビタミン摂取状況と酸化LDLの関連—妊娠高血圧症候群の予防に向けて—
- 6月8日 小林恵美子 (文献紹介) : Hellström Y, Persson G, Hallberg IR. Quality of life and symptoms among older people living at home. *J Adv Nurs*, 48(6),584-93, 2004 (クリティーク 村嶋)
堀越直子 (文献紹介) : Vlastos IM, Mpatistakis AG, Gkouskou KK. Health needs in rural areas and the efficacy and cost-effectiveness of doctors and nurses. *Aust J Rural Health*, 13(6),359-63, 2005 (クリティーク 武内)
- 6月15日 岩崎りほ (文献紹介) : MacMillan HL, Thomas BH, Jamieson E, Walsh CA, Boyle MH, Shannon HS, Gafni A. Effectiveness of home visitation by public-health nurses in prevention of the recurrence of child physical abuse and neglect: a randomised controlled trial. *Lancet*, 365,1786-93, 2005 (クリティーク 渡井)
戸村ひかり : 博士論文経過報告
- 6月22日 麦田真秀人 (文献紹介) : Ploeg J, Brazil K, Hutchison B, Kaczorowski J, Dalby DM, Goldsmith CH, Furlong W. Effect of preventive primary care outreach on health related quality of life among older adults at risk of functional decline: randomised controlled trial. *BMJ*, 340,c1480, 2010 (クリティーク 春名)
白石三恵 : 博士論文経過報告
成瀬昂 : 博士論文経過報告
- 6月29日 石川英里 (文献紹介) : Pantin H, Prado G, Lopez B, Huang S, Tapia MI, Schwartz SJ, Sabillon E, Brown CH, Branchini J. A randomized controlled trial of Familias Unidas for Hispanic adolescents with behavior problems. *Psychosom Med*, 71(9),987-95, 2009 (クリティーク 松崎)
堀田久美 : 博士論文経過報告
渡井いずみ : 博士論文経過報告

- 7月6日 橋本瑞希 (文献紹介) : Naylor MD, Brooten D, Campbell R, Jacobsen BS, Mezey MD, Pauly MV, Schwartz JS. Comprehensive discharge planning and home follow-up of hospitalized elders: a randomized clinical trial. JAMA, 281(7),613-20, 1999 (クリティーク 成瀬)
島村珠枝 : 博士論文経過報告
岡本美香子 : 博士論文経過報告
- 7月13日 細川陸也 (文献紹介) : Kruger BJ, Toker KH, Radjenovic D, Comeaux JM, Macha K. School nursing for children with special needs: does number of schools make a difference? J Sch Health, 79(8),337-46, 2009 (クリティーク 桑原)
武内奈緒子 : 博士論文経過報告
横山由美 : 博士論文経過報告
- 9月14日 齋藤あや (文献紹介) : Kreuter MW, Caburnay CA, Chen JJ, Donlin MJ. Effectiveness of individually tailored calendars in promoting childhood immunization in urban public health centers. Am J Public Health, 94(1),122-7, 2004 (クリティーク 堀越)
岩崎りほ (文献紹介) : Dixon L, Browne K, Hamilton-Giachritsis C. Risk factors of parents abused as children: a mediational analysis of the intergenerational continuity of child maltreatment (Part I). J Child Psychol Psychiatry, 46(1),47-57, 2005 (クリティーク 竹形)
- 9月21日 小林恵美子 (文献紹介) : Florin J, Ehrenberg A, Ehnfors M. Clinical decision-making: predictors of patient participation in nursing care. J Clin Nurs, 17(21),2935-44, 2008 (クリティーク 尾形)
大橋由基 (文献紹介) : Hörnsten A, Lundman B, Stenlund H, Sandström H. Metabolic improvement after intervention focusing on personal understanding in type 2 diabetes. Diabetes Res Clin Pract, 68(1),65-74, 2005 (クリティーク 永田)
- 9月28日 島村珠枝 (文献紹介) : Williams AM, Kristjanson LJ, J Clin Nurs. Emotional care experienced by hospitalised patients: development and testing of a measurement instrument. 18(7),1069-77, 2009 (クリティーク 麦田)
白石三恵 (文献紹介) : Hebert JR, Hurley TG, Peterson KE, Resnicow K, Thompson FE, Yaroch AL, Ehlers M, Midthune D, Williams GC, Greene GW, Nebeling L. Social desirability trait influences on self-reported dietary measures among diverse participants in a multicenter multiple risk factor trial. J Nutr, 138(1),226S-234S, 2008 (クリティーク 石川)
- 10月5日 尾形玲美 (文献紹介) : Silver EJ, Heneghan AM, Bauman LJ, Stein RE. The relationship of depressive symptoms to parenting competence and social support in inner-city mothers of young children. Matern Child Health J, 10(1),105-12, 2006 (クリティーク 有本)
桑原雄樹 : 博士論文経過報告

- 10月12日 竹形みずき (文献紹介) : Urech C, Fink NS, Hoesli I, Wilhelm FH, Bitzer J, Alder J. Effects of relaxation on psychobiological wellbeing during pregnancy: a randomized controlled trial. *Psychoneuroendocrinology*, 35(9),1348-55, 2010 (クリティーク 松崎)
 麦田真秀人 (文献紹介) : Richardson G, Bojke C, Kennedy A, Reeves D, Bower P, Lee V, Middleton E, Gardner C, Gately C, Rogers A. What outcomes are important to patients with long term conditions? A discrete choice experiment. *Value Health. International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research*, 12(2),331-9, 2009 (クリティーク 橋本)
 川本晃子・山田千佳・山名由希子 : 公衆衛生学会予行
- 10月19日 桑原雄樹 (文献紹介) : Laporte A, Croxford R, Coyte PC. Can a publicly funded home care system successfully allocate service based on perceived need rather than socioeconomic status? A Canadian experience. *Health Soc Care Community*, 15(2),108-19, 2007 (クリティーク 齋藤)
 渡井いずみ・山名由希子・尾形玲美・大橋由基 : 公衆衛生学会予行
- 10月26日 橋本瑞希 (文献紹介) : Nordmark B, Blomqvist P, Andersson B, Hägerström M, Nordh-Grate K, Rönqvist R, Svensson H, Klareskog L. A two-year follow-up of work capacity in early rheumatoid arthritis: a study of multidisciplinary team care with emphasis on vocational support. *Scand J Rheumatol*, 35(1),7-14, 2006 (クリティーク 村山)
 石川英里 (文献紹介) : Langille DB, Hughes J, Murphy GT, Rigby JA. Socio-economic factors and adolescent sexual activity and behaviour in Nova Scotia. *Can J Public Health*, 96(4),313-8, 2005 (クリティーク 春名)
- 11月2日 岩崎りほ : 修士論文研究計画
 堀越直子 : 修士論文研究計画
 大橋由基 : 修士論文研究計画
- 11月9日 成瀬昂 (文献紹介) : Bonner AF, Castle NG, Men A, Handler SM. Certified nursing assistants' perceptions of nursing home patient safety culture: is there a relationship to clinical outcomes? *J Am Med Dir Assoc*, 10(1),11-20, 2009 (クリティーク 大橋)
 堀越直子 (文献紹介) : Laurant MG, Hermens RP, Braspenning JC, Akkermans RP, Sibbald B, Grol RP. An overview of patients' preference for, and satisfaction with, care provided by general practitioners and nurse practitioners. *J Clin Nurs*, 17(20),2690-8, 2008 (クリティーク 田口)
- 11月16日 竹形みずき : 修士論文研究計画
 小林恵美子 : 修士論文研究計画
 草刈由美子 : 修士論文経過報告
- 11月30日 齋藤あや : 修士論文研究計画
 橋本瑞希 : 修士論文研究計画
 川本晃子 : 修士論文経過報告
 山居優子 : 修士論文経過報告

- 12月7日 尾形玲美 : 修士論文研究計画
石川英里 : 修士論文研究計画
山田千佳 : 修士論文経過報告
山名由希子 : 修士論文経過報告
- 12月14日 岡本美香子 (文献紹介) : Hendriks EJ, Kessels AG, de Vet HC, Bernardts AT, de Bie RA. Prognostic indicators of poor short-term outcome of physiotherapy intervention in women with stress urinary incontinence. *Neurourol Urodyn*, 29(3),336-43, 2010 (クリティーク 岩崎)
堀田久美 (文献紹介) : Shek KL, Dietz HP. Intrapartum risk factors for levator trauma. *BJOG*, 117(12),1485-92, 2010 (クリティーク 小林)
- 1月4日 修士論文サポート
- 1月11日 修士論文サポート
- 1月18日 修士論文発表予行
- 1月25日 草刈由美子 : 修士論文発表予行
山居優子 : 修士論文発表予行
山名由希子 : 修士論文発表予行
川本晃子 : 修士論文発表予行
山田千佳 : 修士論文発表予行
- 2月1日 石川英里 (文献紹介) : Eckenrode J, Campa M, Luckey DW, Henderson CR Jr, Cole R, Kitzman H, Anson E, Sidora-Arcoleo K, Powers J, Olds D. Long-term effects of prenatal and infancy nurse home visitation on the life course of youths: 19-year follow-up of a randomized trial. *Arch Pediatr Adolesc Med*, 164(1),9-15, 2010 (クリティーク 小林)
堀越直子 : 修士論文経過報告
竹形みずき : 修士論文経過報告
- 2月8日 橋本瑞希 (文献紹介) : Bobay KL, Jerofke TA, Weiss ME, Yakusheva O. Age-related differences in perception of quality of discharge teaching and readiness for hospital discharge. *Geriatr Nurs*, 31(3),178-87, 2010 (クリティーク 大橋)
岩崎りほ : 修士論文経過報告
齋藤あや : 修士論文経過報告
- 2月15日 竹形みずき (文献紹介) : Johnson R, Slade P. Does fear of childbirth during pregnancy predict emergency caesarean section? *BJOG*, 109(11),1213-21, 2002 (クリティーク 尾形)
堀越直子 (文献紹介) : Manojlovich M. Promoting nurses' self-efficacy: a leadership strategy to improve practice. *J Nurs Adm*, 35(5),271-8, 2005 (クリティーク 草刈)

- 2月22日 石川英里 : 修士論文経過報告
小林恵美子 : 修士論文経過報告
橋本瑞希 : 修士論文経過報告
- 3月1日 岩崎りほ (文献紹介) : Lee Y. Early motherhood and harsh parenting: the role of human, social, and cultural capital. *Child Abuse Negl*, 33(9),625-37, 2009 (クリティーク 山居)
齋藤あや (文献紹介) : Zúñiga de Nuncio ML, Nader PR, Sawyer MH, De Guire M, Prislín R, Elder JP. A prenatal intervention study to improve timeliness of immunization initiation in Latino infants. *J Community Health*, 28(2),151-65, 2003 (クリティーク 川本)
- 3月8日 大橋由基 : 修士論文経過報告
尾形玲美 : 修士論文経過報告
島村珠枝 : 報告会 (Denver 報告)

(2) 研究会

	日程	講師およびテーマ (敬称略)
第173回	2010年 4月23日	森亨 (財団法人結核予防会結核研究所) 「結核と社会ネットワーク分析」
第174回	5月27日	川本晃子, 山田千佳, 山名由希子 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程保健師コース) 「東京大学医学系研究科 修士課程保健師コースにおける実習 —地域看護管理実習に焦点をあてて—」
第175回	6月28日	辻哲夫 (東京大学 高齢社会総合研究機構) 「在宅医療の展望と戦略」
第176回	7月23日	大久保功子 (東京医科歯科大学) 「現象学的アプローチとは何か」
第177回	7月26日	島津明人 (東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野) 「共分散構造分析の考え方と使い方: ユーザーの立場から」
第178回	9月21日	園田真理子 (明治大学 理工学部建築学科) 「高齢者住宅の現状とこれからの展望」
第179回	10月22日	藤井誠 (厚生労働省健康局総務課 保健指導室) 「最新の地域保健の動向と保健師活動」
第180回	11月26日	川越雅弘 (国立社会保障・人口問題研究所) 「医療・介護制度改正の方向性と連携上の諸課題—マネジメントを中心に—」
第181回	12月17日	神谷元 (国立感染症研究所 感染症情報センター) 「アメリカの予防接種事情—サンディエゴ郡の場合—」
第182回	2011年 2月18日	藤原武男 (国立成育医療研究センター研究所 成育社会医学研究部) 「揺さぶられ症候群の予防研究」
	3月11日	東日本大震災のため中止

(3) 研究プロジェクト

村嶋幸代, 山田雅子, 田上豊, 福田敬, 竹内美和枝, 永田智子, 田口敦子, 有本梓
地域特性に応じた効果的・効率的な 24 時間訪問看護介護体制の継続的实施および構築方法に関する研究
平成 22 年度厚生労働省労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 桑原雄樹, 川本晃子, 橋本瑞希, 堀越直子
介護予防事業の推進に関する調査研究事業
平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分)

村嶋幸代, 秋山弘子, 大内尉義, 辻哲夫, 三上裕司, 森田朗, 山田雅子, 福田敬, 永田智子, 田口敦子,
成瀬昂, 桑原雄樹
訪問看護の需給推定に関する研究事業
平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分)

田口敦子, 因理恵, 内田千恵子, 荻原正子, 佐野けさ美, 三上裕司, 森上淑美, 石井禎子, 石田良太, 大久保千恵, 鎌石佐織, 川越雅弘, 近内直美, 柴口里則, 藤原伸二
医療ニーズが高い利用者に対する地域における支援 (特に訪問看護) に関する調査研究事業
社団法人 日本介護支援専門員協会, 平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分)

山田雅子, 秋山正子, 上野桂子, 尾崎章子, 小西優子, 齋藤訓子, 佐々木静枝, 田口敦子, 田代真理, 平原優美, 松井順子, 三上裕司, 成瀬昂
24 時間訪問看護サービス提供の在り方に関する調査研究事業
社団法人 全国訪問看護事業協会, 平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分)

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 有本梓
協働アクションリサーチによる地域看護活動の評価モデルの開発
平成 21-23 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)

永田智子, 戸村ひかり, 石塚裕美子, 廣田真由美, 山居優子, 草刈由美子, 田口敦子, 有本梓, 村嶋幸代
地域ケアにおける看護連携ガイドラインの作成—外来と在宅ケア機関に焦点を当てて—
平成 22 年度科学研究費基盤研究 (B)

永田智子, 山田雅子
急性期病院での退院支援のケアパッケージ作成に向けた開発研究
平成 22 年度ファイザーヘルスリサーチ振興財団国内共同研究事業

戸村ひかり，鈴木樹美，永田智子，村嶋幸代

在宅医療の速やかな開始に向けた退院支援看護師の能力開発方法 - 自己評価のためのツール開発を通して -

公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 2009 年度在宅医療助成 (後期)

戸村ひかり (指導教員：村嶋幸代)

退院支援看護師の実践能力向上を目指した教育プログラムの開発 - 全国規模の調査 -

公益信託 山路ふみ子専門看護教育研究助成基金 平成 22 年度研究助成金

成瀬昂，田口敦子，桑原雄樹

訪問看護とヘルパーによる一体型訪問看護サービス提供システムの開発

財団法人 医療科学研究所平成 21 年度研究助成

片山泰代，白川美弥子，矢津剛，成瀬昂

在宅療養支援診療所と訪問看護ステーションが運営するデイホスピスサービスの事業評価

公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 2010 年度在宅医療助成 指定公募 (前期)

(4) 教室内勉強会

母子保健(MCH)勉強会 (2010年5月26日～12月27日)

母子を対象とした地域看護学研究を行うための基礎となる知識と研究の動向を学ぶとともに、実践に活用可能な母子を対象とした地域看護学研究の研究課題を見出すことを目的として行った。

参加者：母子保健に関する研究に関心のある教員・院生 (有本・渡井・横山・石川・岩崎・尾形・川本)

日程	テーマ	担当
5月26日 (水)	過去の修士論文から学ぶ(1)文献紹介	石川・岩崎・尾形
6月17日 (木)	過去の修士論文から学ぶ(2)文献紹介 実践に活用可能な研究課題とは	有本 有本・石川・岩崎・尾形・川本
7月1日 (木)	過去の修士論文から学ぶ(3)文献紹介 実践に活用可能な研究課題とは	有本 尾形
7月29日 (木)	尺度を学ぶ (1)開発過程、項目、信頼性・妥当性 Strength and Difficulties Questionnaires : SDQ 尺度開発・検討の基礎知識	石川・岩崎・尾形 渡井・有本
9月3日 (金)	研究進捗報告	渡井
9月30日 (木)	研究計画案発表 研究費申請に向けて：基礎知識	石川・岩崎・尾形・有本 有本
12月27日 (月)	日本子ども虐待防止学会第16回学術集会 参加報告 地域診断・活動展開実習のまとめ 修士論文計画	石川・岩崎 尾形 石川・岩崎

(5) 研究交流促進

Sachiyo Murashima

Nursing Education and Research at the University of Tokyo

The University of Hong Kong School of Nursing Academic Visit to the University of Tokyo

The University of Tokyo, Tokyo, March 4, 2011

4. 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 3年後期Ⅰ・Ⅱ (4単位)

担当： 村嶋幸代／永田智子／田口敦子／有本梓

期間： Ⅰ 平成22年10月21日～平成22年12月2日 木曜日 13:00～16:10

Ⅱ 平成22年12月8日～平成23年2月2日 水曜日 9:00～12:10

日程	講義題目	担当
Ⅰ		
10月21日 (木)	地域看護学の概念、対象と機能、動向	村嶋
10月28日 (木)	休講 (公衆衛生学会の為)	
11月4日 (木)	成人保健活動論	錦戸
11月11日 (木)	感染症と危機管理	梶原
11月18日 (木)	母子保健活動論	有本
11月25日 (木)	地域アセスメント講義および演習	村嶋・永田・有本・田口
12月2日 (木)	地域看護の展開事例	山田
Ⅱ		
12月8日 (水)	在宅看護論1	角田
12月15日 (水)	地域アセスメント演習 (大田区)	村嶋・永田・有本・田口
2011年		
1月12日 (水)	在宅看護論2	角田
1月19日 (水)	振替 (基礎看護Ⅲ) 地域アセスメント発表会	—
1月26日 (水)	在宅看護論3	角田
2月2日 (水)	地域アセスメント発表会	村嶋・永田・有本・田口

講師	錦戸典子	東海大学健康科学部看護学科	教授
	梶原聡子	東京都健康安全研究センター	微生物部 疫学情報室
	山田圭子	台東保健所	保健サービス課
	角田直枝	茨城県中央病院	茨城県地域がんセンター 看護局長
	澤登久雄	大田区地域包括支援センター入新井	センター長

2) 在宅看護論 4年前期 I (2単位)

担当： 村嶋幸代／永田智子／有本梓

期間： 平成22年4月7日～平成22年5月12日 水曜日 9:00～12:10 (一部変更あり)

日程	講義題目	担当
4月 7日 (水)	介護保険制度／ケアマネジメント	永田
4月12日 (月)	ケアマネジメント (演習)	永田・有本
4月14日 (水)	在宅ケアシステム・介護予防	村嶋
4月19日 (月)	難病患者への地域看護活動	小西
4月21日 (水)	病院から地域へー退院支援	鈴木・永田
4月28日 (水)	地域の危機管理	村嶋
5月12日 (水)	重症心身障害児の在宅看護	東部訪問看護事業部

講師 鈴木樹美 東京大学医学部附属病院地域医療連携部
 小西かおる 昭和大学保健医療学部看護学科地域・在宅看護学 教授
 社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会 重症心身障害児在宅療育支援センター 東部
 訪問看護事業部

3) 保健指導論 4年前期 I (2単位)

担当： 村嶋幸代／永田智子／田口敦子／有本梓

期間： 平成22年4月8日～平成22年5月13日 木曜日 13:00～16:10 (一部変更あり)

日程	講義題目	担当
4月 8日 (木)	保健指導の方法： 地区組織活動・グループ支援 集団指導の立案 (演習)	村嶋・永田・有本・田口
4月15日 (木)	保健指導概論	村嶋
4月22日 (木)	保健指導の実際： 個別指導 —生活習慣病予防を中心に—	五十嵐
4月26日 (月)	保健指導の方法： 家庭訪問、健康診査	上野
5月 6日 (木)	保健指導の実際： 家庭訪問、健康診査 集団指導準備 (演習)	上野 村嶋・田口
5月13日 (木)	保健指導の実際： 集団指導の実施 (演習)	五十嵐・村嶋・永田・有本・田口

講師 上野昌江 大阪府立大学 地域看護学 教授
 五十嵐千代 東京工科大学医療保健学部看護学科 地域看護学 准教授
 同大学 産業保健実践研究センター長

- 4) 生きることを支える科学：看護学の最先端
 対象：駒場学生
 期日：平成22年4月8日
 内容：人々の健康と社会を護る看護の研究（村嶋）
 期日：平成22年7月1日
 内容：退院支援—病院と地域をつなぐ—（永田）
- 5) 健康総合科学概論
 対象：健康総合科学科 学生
 期日：平成22年11月24日
 内容：人々の健康と生活を支える看護の科学：保健師の仕事に焦点を当てて（村嶋）

(2) 学部実習

[2年生] 健康支援実習Ⅰ

期間：平成22年10月25日（月）～11月19日（金） 月曜日・金曜日
 実習場所：文京区（24名）

[2年生] 健康支援実習Ⅱ

期間：平成23年2月15日（火）～2月18日（金）
 実習場所：JFE スチール東日本製鉄所、助産院

[4年生] 地域看護学実習

期間：平成22年7月5日（月）～7月16日（金）
 実習報告会：平成22年7月20日（火）
 実習施設：文京区保健サービスセンター（2名）
 文京区保健サービスセンター本郷支所（2名）
 世田谷区砧総合支所健康づくり課（3名）

[4年生] 在宅看護論実習

期間：平成22年11月8日（月）～11月12日（金）
 実習報告会：平成22年11月12日（金）
 実習施設：

①退院支援部署（1日）

東京大学医学部附属病院・地域医療連携部（3名）
 三井記念病院・退院支援室（3名）
 NTT 東日本病院 総合相談室（2名）

②訪問看護ステーション（3日）

訪問看護ステーションけせら（2名）
 小石川医師会訪問看護ステーション（3名）
 全仁会上野訪問看護ステーション（2名）

(3) 大学院特論

1) 地域看護学特論 I

担当：村嶋幸代／永田智子

吉田亨（群馬大学医学部保健学科）

日程：平成22年4月～7月 火曜日 金曜日

内容：地域看護学の理論・実践・研究について修士レベルの教科書を用いながら学ぶとともに、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。

主なテキスト：

Allender J.A., Rector C, Warner K

Community Health Nursing, Promoting and Protecting the Public's Health 7thed., Lippincott Williams & Wilkins, 2009.

4月20日 (火)	13:30～14:30	オリエンテーション, 打ち合わせ	(村嶋)
5月18日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 Ch4: Evidence-Based Practice and Ethics in Community Health Nursing	
5月28日 (金)	16:30～19:30	地域における組織活動論 I (歴史と理論)	(吉田)
6月8日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 Ch3: Setting the Stage for Community Health Nursing	
6月11日 (金)	16:30～19:30	地域における組織活動論 II (活動の実際)	(吉田)
6月22日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 Ch25: Working with Vulnerable People	
7月2日 (金)	16:30～19:30	地域における組織活動論 III (ヘルスプロモーション)	(吉田)
7月13日 (火)	13:30～16:30	発表・討議 Evidence-Based Public Health Practice(Nursing)につ いて	(村嶋)

2) 行政看護学特論 I

担当： 村嶋幸代／有本梓／田口敦子

日程： 平成22年4月～7月 火曜日

内容： 行政保健師活動に活用可能なモデルや諸概念を学ぶと共に、地域看護の上級実践に必要な地域のアセスメント、問題の発見、優先順位の決定、対策立案、実施、評価を、米国の教科書を使いながら学ぶ。

主なテキスト：

Allender J.A., Rector C, Warner K

Community Health Nursing, Promoting and Protecting the Public's Health 7thed., Lippincott Williams & Wilkins, 2009.

4月20日 (火)	13:30～14:30	オリエンテーション・打ち合わせ
5月11日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 (地域看護の理論) Ch14: Theoretical Basis of Community Health Nursing Ch15: Community as Client: Applying the Nursing Process
5月25日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 (地域ケア) Ch15: Community as Client: Applying the Nursing Process Ch12: Planning and Developing Community Programs and Services (Planning まで)
6月1日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 (施策化) Ch12: Planning and Developing Community Programs and Services (Evaluation) Ch13: Policy Making and Community Health Advocacy
6月15日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 (地域看護の基本事項) Ch10: Communication, Collaboration, and Contracting
6月29日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 (家族支援の理論) Ch18: Theoretical Basis for Promoting Family Health
7月6日 (火)	13:30～16:30	文献輪読・討議 (ヘルスプロモーション) Ch11: Health Promotion: Achieving Change Through Education
7月20日 (火)	13:30～16:30	発表・討議 モデルの活用

3) 地域看護学特論Ⅱ

担当： 村嶋幸代／永田智子／有本梓

田上豊 (三菱総合研究所 人間・生活研究本部 グループ主席研究員)

麻原きよみ (聖路加看護大学 地域看護学 教授)

日程： 平成22年7月～12月 原則火曜日

内容： 地域看護学に関する研究の現状と課題について、特に在宅ケアを中心として学ぶ。また、地域看護学研究の方法論についても学ぶ。

7月27日 (火)	10:00～12:00	文献レビューの方法	(有本)
10月12日 (火)	13:30～14:30	オリエンテーション、打ち合わせ	(村嶋)
10月19日 (火)	13:30～16:30	質的研究の方法	(麻原)
10月26日 (火)	13:30～16:30	対人サービスの評価	(田上)
11月2日 (火)	13:30～16:30	発表・討議 (文献レビュー)	(村嶋・永田)
11月9日 (火)	13:30～16:30	在宅ケアの社会経済的評価	(田上)
11月17日 (水)	9:00～12:00	発表・討議 (文献レビュー)	(村嶋・永田)
12月14日 (火)	13:30～16:30	地域ケアの評価	(田上)

4) 行政看護学特論Ⅱ

担当： 村嶋幸代／田口敦子／有本梓

園田眞理子 (明治大学理工学部建築学科)

藤井誠 (厚生労働省健康局総務課保健指導室)

川越雅弘 (国立社会保障・人口問題研究所)

神谷元 (国立感染症研究所 感染症情報センター)

堀井とよみ (NPO 法人 みなくち)

大森純子 (聖路加看護大学 地域看護学 准教授)

麻原きよみ (聖路加看護大学 地域看護学 教授)

日程： 平成22年4月～7月 火曜日 金曜日

内容： 国や自治体の政策形成のしくみ、自治体の政策立案や制度の運用・評価方法について学び、保健師の施策化への関わり方を理解する。また、研究者として施策化にどのように関わることができるかを考える。

主なテキスト：森田朗. 改訂版 現在の行政. 放送大学教育振興会, 2000

この他に、参考文献を配布

9月21日 (火)	18:00～20:00	高齢者住宅の現状とこれからの展望	(園田)
10月22日 (金)	18:00～20:00	最新の地域保健の動向と保健師活動	(藤井)
11月26日 (金)	18:00～20:00	医療・介護制度改正の方向性と連携上の諸課題—マネジメントを中心に—	(川越)
11月30日 (火)	13:30～16:30	保健師活動と施策化	(堀井)
12月7日 (火)	13:30～16:30	Community-based Participatory Research の概要と実践例	(大森)
12月17日 (金)	18:00～20:00	アメリカの予防接種事情 ～サンディエゴ郡の場合～	(神谷)
12月21日 (火)	13:30～16:30	地域看護実践における倫理に関する研究	(麻原)

(4) 大学院実習

[修士1年：保健師コース]

1) 継続家庭訪問実習

期間：平成22年6月～平成23年3月

実習施設：東京都在宅重症心身障害児訪問看護事業 東部訪問看護事業部 (2名)

2) 地域診断・活動展開実習

期間：平成22年6月17日～18日，8月2日～9月3日，平成23年2月14日

実習施設：岐阜県本巣市本巣保健センター (1名)

期間：平成22年7月8日～22日、8月23日～9月3日

実習施設：東京都板橋区上板橋健康福祉センター (1名)

3) 地域ケアマネジメント実習

期間：平成22年12月20日，平成23年1月17日～24日，1月31日～2月4日，3月14日

実習施設：岐阜県各務原市 岐阜保健所 (1名)

期間：平成23年1月13日～2月23日

実習施設：東京都足立区千住保健総合センター (1名)

(5) 修士論文

川本晃子（指導教員：村嶋幸代）

地域包括支援センター保健師が地域住民と協力して行った個別支援の内容

草刈由美子（指導教員：村嶋幸代）

大都市で在宅介護をする息子介護者の栄養素摂取状況—食塩、食物繊維、アルコール摂取に焦点を当てて—

山居優子（指導教員：村嶋幸代）

筋萎縮性側索硬化症患者の胃瘻造設術実施時期に影響する要因—疾患の経過と情報提供のされ方に焦点を当てて—

山田千佳（指導教員：村嶋幸代）

中年者の余暇歩行と近隣住民の社会規範との関連—近隣の世間体意識別の検討—

山名由希子（指導教員：村嶋幸代）

自覚症状のある結核患者の受診の遅れとその特徴—60歳未満と60歳以上の比較—

(6) 博士論文

戸村ひかり（指導教員：村嶋幸代）

退院支援看護師の実践能力評価尺度の開発および、関連要因の検討

横山由美（指導教員：村嶋幸代）

乳幼児期のダウン症候群の子どもを持つ母親の“育ての場探し”

5. 学内での活動

(1) 委員会活動

村嶋幸代

東京大学

男女共同参画室

委員 ポジティブアクション部会

平成21年7月～

保健所運営委員会 委員

平成20年7月～平成22年6月

高齢社会総合研究機構 運営委員会

平成18年4月～

東京大学医学系研究科

健康科学・看護学専攻 専攻長

平成15年4月～平成23年3月

医学部建築委員会 委員

平成17年4月～

医学部（山の上）防災委員会

平成19年4月～

健康総合科学将来構想検討ワーキンググループメンバー

平成21年4月～

医学系研究科 男女共同参画委員会 委員

平成20年12月～

医学部執行部会 委員

平成21年4月～

創立150周年記念事業委員会

健康&医学ミュージアム設置準備委員会委員

平成20年11月～

医学部附属病院

看護体制在り方委員会 委員

平成18年5月～

永田智子

医学部健康総合科学科 教育委員

平成19年4月～

(2) 教室内での役割分担

抄読会係	成瀬昂,	岩崎りほ,	堀越直子
研究会係	島村珠枝,	石川英里,	尾形玲美
親睦会係	桑原雄樹,	大橋由基,	小林恵美子, 橋本瑞希
PC係	成瀬昂,	桑原雄樹,	齋藤あや, 麦田真秀人
ホームページ係	桑原雄樹	成瀬昂,	齋藤あや, 麦田真秀人

6. 学会における活動

村嶋幸代

日本地域看護学会	
理事長	平成21年8月～
査読委員	平成21年11月～
評議員	平成12年6月～
理事	平成12年6月～
研究活動推進委員会 委員長	平成18年9月～
日本公衆衛生学会	
評議員	平成8年7月～
理事	平成14年9月～
公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会 委員長	平成17年9月～
日本看護科学学会	
理事	平成19年12月～
評議員	平成19年12月～
表彰論文選考委員 委員長	平成22年4月～
日本民族衛生学会	
評議員	平成4年10月～
日本老年医学会	
学術評議員	平成15年4月～
日本看護研究学会	
評議員	平成19年4月～
日本老年社会学会	
評議員	平成19年4月
日本看護管理学会	
評議員	平成21年4月～
日本在宅ケア学会	
評議員	平成21年4月～
第28回日本医学会総会	
展示委員会つくるWG委員	平成20年12月～
Public Health Nursing (Journal)	
Reviewer	平成12年6月～
International Nursing Reviewer (Journal)	
Reviewer	平成13年2月～
Nursing & Health Sciences	
Reviewer	平成14年4月～
EAFONS(The 12 th East Asian Forum of Nursing Scholars)	
Board Member	平成19年4月～

Sigma Theta Tau Alpha Kappa Chapter-at-Large
(University of Colorado and Regis University joint chapter)

Member 平成12年12月～

International Conference on Community Health Nursing Research

Member 平成7年～

American Public Health Association

Member 平成8年～

永田智子

日本地域看護学会

理事 平成21年8月～

査読委員 平成21年8月～

広報委員 平成21年8月～

日本看護科学学会

英文誌編集委員会委員 平成22年1月～

第2回日韓地域看護学会共同学術集会

運営委員 平成22年6月～

有本梓

Public Health Nursing (Journal)

Reviewer 平成22年1月～

横山由美

日本新生児看護学会

評議員 平成10年11月～

7. 社会的活動

村嶋幸代

文部科学省

大学における看護系人材養成の在り方に関する検討委員会 委員
平成21年3月～

日本看護系大学協議会

看護学評価機関検討委員会 委員
平成21年4月～

日本学術振興会

特別研究員等審査会 専門委員
平成17年8月～

国際事業委員会書面審査員
平成17年8月～

大学機関別認証評価委員会

専門委員
平成18年度～

全国保健師教育機関協議会

会長
平成18年4月～

全国訪問看護事業協会研究事業検討委員会

委員長
平成22年4月～平成23年3月

日本保健師連絡協議会

幹事
平成20年3月～

独立行政法人大学評価・学位授与機構 国立大学教育研究評価委員会

専門委員
平成22年7月～

独立行政法人大学評価・学位授与機構 大学機関別認証評価委員会

専門委員
平成22年5月～

公益法人医療科学研究所

評議員
平成22年6月～

財団法人医療科学研究所

評議員
平成15年6月～

財団法人日本訪問看護振興財団

研究助成金審査委員長
平成13年度～

財団法人中山科学振興財団

評議員
平成16年度～

保健の科学

編集委員
平成13年4月～

医療と社会

編集委員
平成19年4月～

インターネットジャーナル「看護科学研究」

編集委員
平成22年4月～平成23年3月

東京都

東京都地方独立行政法人評価委員会委員（公立大学分科会）

平成22年4月

東京の地域ケアを推進する会議「専門部会B」 専門委員

平成20年7月～

世田谷区

地域包括支援センター運営協議会 委員

平成20年4月～

健康たまがわプラン 策定と評価 助言者

平成18年4月～

柏市

24時間短時間・巡回型訪問介護モデル事業検討委員会 委員

平成22年12月～平成23年3月

永田智子

文京区介護保険認定審査会委員

平成17年4月～

有本梓

全国保健師教育機関協議会 総会運営委員

平成22年4月～平成22年10月

成瀬昂

文京区介護保険認定審査会 委員

平成22年4月～

8. 教室日誌

2010年	4月1日	磯村由紀子 事務員 採用
	4月13日	ウェルカムランチ (研究室)
	4月23日	新年度顔合わせ会 (東大構内「カポ・ペリカーノ」)
	4月28日	遠藤裕子 事務員 退職
	7月20日	納涼会 (本郷「こりやうめえ 本郷店」)
	7月22日	夏の大掃除
	9月25-26日	コロラド大学教授 Kathy Magilvy 先生 来日
	12月21日	忘年会 (本郷「こりやうめえ 本郷店」) 年末大掃除
2011年	3月24日	送別会 (研究室)
	3月31日	磯村由紀子 事務員 退職

9. 教室員名簿 (2010年度)

教授	村嶋幸代		
非常勤講師	田上豊 上野昌江 五十嵐千代	吉田亨 錦戸典子	麻原きよみ 角田直枝
講師	永田智子		
助教	田口敦子	有本梓	
事務員	堀美奈子 遠藤裕子 (2010年4月まで) 磯村由紀子 (2010年4月～2011年3月) 竹田由美	山口千鶴子 竹野由香	
大学院生 (博士課程)	横山由美 野尻 (秋山) 直美 成瀬昂 渡邊麻衣子・松永篤志・村山亜矢子(休学中)	武内奈緒子 桑原雄樹	戸村ひかり 島村珠枝
大学院生 (修士課程)	川本晃子 山田千佳 岩崎りほ 小林恵美子 堀越直子 櫻井美里(休学中)	草刈由美子 山名由希子 大橋由基 齋藤あや 麦田真秀人	山居優子 石川英里 尾形玲美 橋本瑞希
大学院研究生	渡井いずみ		
客員研究員	大島浩子 小西かおる 鷺見尚己 服部真理子	岡田麻里 小林小百合 征矢野あや子 村山洋史	蔭山正子 斉藤恵美子 高橋美砂子 吉岡京子
教室研究生	伊藤麻子 関口和子 馬場千恵	白戸舞 関根綾希子 廣田真由美	鈴木樹美 長弘佳恵 宮崎綾子